公益社団法人倉敷環境検査センター

令和7年度事業計画書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

1 基本理念

公益社団法人倉敷環境検査センターは、浄化槽法に基づく浄化槽の水質に関する検査の公正な実施及び浄化槽の普及を促進するとともに、浄化槽の維持管理の適正化並びに知識の普及を図り、もって良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

2 運営方針

- (1) 公益社団法人として、一般法人法等法の遵守は勿論のこと、本年4月に施行される公益法人制度改正に伴い、ガバナンスの充実や透明性の向上が責務として規定されるが、これに適切に対応し、運営の透明性、説明責任を果たし公益の増進に寄与していく。
- (2) 浄化槽法第7条及び第11条の規定による水質に関する検査、その他浄化槽の水質検査、浄化槽に関する知識の普及及び指導活動、調査研究等の事業を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上等の公益目的事業を行う。
- (3) 浄化槽の完了確認検査、普及啓発及び指導等の業務の受託等の公益目的事業を行う。
- (4) センターの発展に向け、県・市町等関係機関、浄化槽関係団体等と緊密な連携を図り、浄化槽の普及の促進を図る。

3 事業計画

(1) 公益目的事業

1) 法定検査（法第7条及び第11条検査）事業

高受検率を維持するため計画的に検査を実施するとともに、設置者等に対し、適宜、検査結果に基づく指導・助言を行う。

① 令和7年度法定検査実施予定数 : 35,400基

内訳 7条検査実施予定数 : 400基

11条検査実施予定数 : 35,000基

② 法定検査基数の推移(表-1)

(基)

区分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
7条	591	577	543	471	487	526
11条	34,519	34,400	35,011	35,080	35,102	34,976
合計	35,110	34,977	35,554	35,551	35,589	35,502

R 6は、2月末実績

③ 法定検査受検率の推移（岡山県）（表－2）

(%)

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
7 条	100	100	100	100	—
1 1 条	92.8	88.8	90.3	93.5	—

※R 5 は、国で集計中

2) 要綱検査事業

① 令和7年度要綱検査実施予定数 : 3, 200件

② 要綱検査基数の推移(表-3)

(件)

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
要綱検査	3, 281	3, 279	3, 224	3, 201	3, 186	3, 200

※R 6 は、予定件数

3) 倉敷市受託業務

① 浄化槽設置補助金交付事業完了確認検査業務

ア 令和7年度受託基数 倉敷市(児島地区を除く) : 120基

イ 完了確認検査基数の推移(表-4)

(基)

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
受託基数	360	278	216	229	276	200

※R 6 は、予定基数

② 倉敷市浄化槽管理者講習会受託業務

ア 令和7年度受託回数 : 倉敷市内3会場で開催、啓発資料の配布

イ 講習会開催回数の推移(表-5)

区 分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
受託内容	1会場・ 書面	—	書面	書面	3会場	3会場

(2) 浄化槽に関する普及啓発及び維持管理指導等

① 設置者等の関係法令に対する無理解などにより、いわゆる登録業者による保守点検が行われていない浄化槽が未だ相当数見受けられ、これが法定検査

受検率向上や水環境保全の隘路ともなっていることから、関係の行政機関や保守点検業者等と連携を図るとともに、ホームページ等も活用した浄化槽管理者への啓発活動に取り組む。

- ② 単独浄化槽の合併浄化槽への転換促進の啓発活動や、特定既存単独浄化槽に対する措置が円滑に推進されるよう、岡山県及び関係市・町への協力を行う。

(3) 浄化槽の整備促進

- ① 浄化槽の法定検査実施基数は、ここ数年横ばい傾向にあるが、今後は減少傾向に向かうものと予測される。集合(下水道)から個別(浄化槽)への切り替えによる汚水処理人口の普及に向けた政策転換及び汚水処理の概成に向け、未だ水洗化できていない県民、市民が多くいる状態を解消するため、各種要望活動に取り組むとともに、引き続き浄化槽の整備促進及び維持管理費用の助成制度の創設を目指す。
- ② 防災、減災の観点から災害に強い浄化槽の学校、公民館等の公共施設への速やかな整備促進を図るよう働きかけを行う。

(4) (一社)岡山県浄化槽団体協議会を中心とした関係団体、業界との連携

- ① 引き続き、当法人の上部団体である団体協議会を中心とした関係団体、業界との連携を図るとともに、特に改正浄化槽法に基づく法定協議会の設置に向けた取組みとして民間ボランティア団体との協働により新しい官民連携体制の構築を目指す。
- ② 関係団体と協力し、浄化槽の施工・保守点検・清掃等関係業者等への指導・助言を行い、地域における快適な生活環境を確保し、併せて公共用水域の水質を保全するための活動を引き続き行う。

(5) 岡山県浄化槽機能保証制度の活用

岡山県浄化槽機能保証制度が設置者等に利用しやすいよう一部改正され、令和6年4月1日から施行されたが、(一社)全国浄化槽団体連合会の機能保証制度と併せて、関係者等への周知、利用促進を図る。

(6) 検査員の知識の習得と技術の向上及び検査の信頼性の確保

- ① 全国浄化槽技術研究集会、実務セミナー、指定検査機関中国地区協議会検査員研修会並びに他地区検査員研修会等に積極的に参加し、人材育成と知識及び技術の向上を図るとともに、自主管理体制を確立し、検査の信頼性をより一層向上させるため業務管理規程等の策定を行う。なお、法定検査及び要綱検査に係る放流水水質検査業務を協同組合倉敷市環境保全協会へ委託しているが、当該協会の行う検査の信頼性の確保及び検査の適格な実施にも取り組む。
- ② 検査員の技術研修等を行うとともに、タブレット端末導入等による検査のデジタル化や設置台帳、地図情報のデジタル化に向けた情報収集・研究に引

き続き取り組む。

- ③ 令和7年度は3指定検査機関で構成する岡山県指定検査機関連絡協議会の幹事機関となることから、当協議会の円滑な運営を図る。

(7) ホームページによる情報の提供

昨年9月に、当法人の概要や事業内容、浄化槽に係る知識や情報を幅広く県民、市民に提供する「ホームページ」を開設したが、これを活用し積極的に情報を発信していく。

※ ホームページ：[公益社団法人倉敷環境検査センター](https://Kurashiki-kankyou.jp/)
(<https://Kurashiki-kankyou.jp/>) で検索

(8) 令和7年度の活動について

1) 行事予定 (表-6)

月	理事会・監事会	会 員	検 査 員
4			
5	・ 監事会 ・ 第1回理事会		・ 指定検査機関検査員研修会 ・ 倉敷市浄化槽連絡会議
6	・ 定時総会、第2回理事会		
7			
8	・ 第3回理事会		
9	指定検査機関連絡協議会視察研修		・ 中国地区指定検査機関意見交換会(広島県)
10			・ 全国浄化槽大会 (東京都) ・ 全国浄化槽技術研究集会 (茨城県水戸市) ・ 倉敷市浄化槽連絡会議
11			
12	・ 第4回理事会		
1			・ 浄化槽管理者講習会
2			・ 岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会研修会 ・ 浄化槽管理者講習会
3	・ 第5回理事会		
	・ 臨時総会		

[備考] 「岡山県知事指定検査機関検査員連絡会議」年5回(検査員)